

世界へ羽ばたけ美郷っ子

～中学生海外研修報告～

平成23年度 美郷町21世紀担い手人材育成事業（中学生海外研修事業）が3月26日から31日まで行われ、11人が参加しました。今回の研修先は、おとなり韓国です。韓国は秋田空港から3時間。時差もなく、最近では映画やテレビ・音楽・スポーツなどで接することが多くなったとても身近な国です。

異国の地で彼らが何を感じ、学んできたか。現地での研修内容と4人から寄せられた感想文を紹介します。

「韓国で英語？」。不思議に思われるかもしれませんが、韓国は英語教育がとても盛んな国です。中でも特色があるのが、英語圏の街並みを再現した「英語村」と呼ばれる体験型研修施設。ここでは、地元韓国の子どものほか外国からも多くの語学研修生が訪れ、英語を学んでいます。

今回の美郷っ子の研修は2泊3日の合宿形式で行われました。病院やレストラン、放送局などテーマ別のレッスンを受け、英語講師による授業や創作活動を通じて英語を学びました。英語しか使えない環境に始めは不安だった研修生たちも、必然的に言葉が出るようになってきたようです。

休み時間には韓国の子供たちに話しかけたり、一緒に研修を受けたロシアの子供達と仲良くなったりと、積極的にコミュニケーションを取っていました。

韓国英語村での研修



韓国の歴史、文化に触れる

ソウル市内の視察では、ソウルタワー、景福宮（キョンボックン）、国立民俗博物館など韓国の代表的な名所を訪れ、歴史や異文化への理解を深めました。また、舞台「NANTA（ナンタ）」の鑑賞では、言葉は分からなくても音楽や動作を通じてストーリーを想像し十分に楽しむことができました。グループ別研修では、現地大学生ボランティアによる案内で、明洞（ミョンドン）などソウル市内の繁華街を視察しました。世代の近い大学生と会話しながら、実際に市内を歩いたり地下鉄に乗ったりすることで、韓国をより身近に感じていたようです。



最後に

美郷町の中学生海外研修で韓国を訪れるのは今回がはじめてでした。

辛い食事が多い韓国の食生活に戸惑う場面もありましたが、英語が国際的な言語としていかに大切か実感できたことや、両国の歴史的な関係をふまえて現在の韓国の状況を実際に肌で感じる事ができたこと、異国の人と触れ合ったこと、一緒に参加した仲間と助け合ったことなどの経験は、きっとこれからの生活に役立つことでしょう。世界へ羽ばたけ美郷っ子！



Hello, from Japan

美郷中学校2年
泉谷 優

(研修参加時 仙南中学校1年)



「Hello from Japan」これは、私が英語村で一番多く使った言葉です。私は、韓国の小中学生と何か話ができたらな…と思って、思い切って言葉をかけてみました。最初は、そっけなくただ素通りされるばかりでした。しかし、何回か言っているうちに、私達の気持ちが通じたのか「Hello」と返してくれるようになり、それはとても嬉しいことでした。韓国語も英語もほとんど話せず、とても不安だった私に勇気を与える気を与えてくれた言葉です。

英語村の授業は、「日本語禁止」で、「もうダメだ」と思ってしまいました。しかし、今度は一緒に参加した仲間から勇気をもらいました。みんな自分から積極的に内容を理解しようとしており、そんな前向きな姿勢から私も頑張ろうという気持ちになりました。

この貴重な経験をこれからの学校生活に活かせたいと思います。

実感した文化の違い

美郷中学校2年
田村 創

(研修参加時 六郷中学校1年)



2泊3日で泊まった英語村は、とても自分にとっていい経験になったと思います。最初、英語しか通じないという話を聞いて、授業はちゃんと受けられるか、上手にコミュニケーションをとることができるかなどの不安がありました。でもそんな不安はなくなりました。それどころか毎日楽しく過ごすことができました。なぜかという、先生方がジェスチャーを大きくして、授業の流れを良くわかるようにしてくれました。また、英語村に来ていた子ども達が僕達にたくさん話しかけてくれたり、とてもフレンドリーに接してくれました。

面白いもので、英語しか使えない環境にいと、積極的に自分から英語を使って、友達と話していました。この海外研修では、海外の生活に触れ、将来の自分に必要な要素にたくさん触れることができ、とてもいい経験になりました。

海外研修で学んだこと

美郷中学校2年
畠山 椋

(研修参加時 六郷中学校1年)



英語村では、ロシア人の双子の兄弟が僕達と一緒に授業を受けました。僕達より英語が上手くて驚きました。僕が楽しみにしていた、英語で色々な国の人達と会話するということは、ロシアや韓国の人達と、話したり遊んだりすることができ、達成されました。

また、ソウルの昔と今の文化も体験してきました。NANTAというパフォーマンスショーや景福宮という昔の王宮を見学したり、ロッテワールドに行ったりしました。景福宮は、日本の城と似ていて興味がありました。韓国文化を学べて、とても勉強になりました。

僕は、今回の研修を通じて得たものがたくさんあります。英語の学習や韓国の文化を学んだことはもちろんですが、韓国の人々の優しさ、みんなで協力することの大事さなどを学びました。

韓国に行ってみて

美郷中学校2年
田中 里歩

(研修参加時 仙南中学校1年)



私は、研修に行くまで、韓国も日本と生活や文化が変わりはないのかなと思っていました。だけど実際に行ってみて文化の違いに気づきました。日本では、お茶碗などを持って食べるのが常識ですが、韓国では、お茶碗などの食器を持って食べるのは行儀が悪いことだそうです。グループ研修のときに乗った地下鉄では、乗車券を使い終わって返すと500ウォンが返ってきました。このように、日本と韓国の違いを体験することができて、とてもおもしろかったです。

英語村では、授業中すべてが英語で、話すスピードに最初はついていけませんでしたが、でも15科目の授業を受けていくうちにだんだん慣れてきました。その中でもマジックやNANTAの授業が一番楽しかったです。

この経験を生かして美郷中でも英語をがんばりたいと思います。また他の国の文化に興味を持っていきたいです。機会があればまた韓国に行きたいです。